



萌木

11月



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和5年11月16日発行

～自尊・立志・感動～

共に学ぶことで成長していく力

校長 山田 勝

先月18日にあった合唱コンクールから、一月近く経ちました。多数の保護者の皆様にご参観いただきました。また、PTAの皆様にも受付・案内等お手伝いいただきました。ありがとうございました。

今年度は全学年全クラス、課題曲・自由曲の2曲の発表があり、また、吹奏楽部・合唱部の発表と合わせ、音楽という芸術に浸った一日でした。歌詞の中にある、あるいは歌詞以上のメッセージのイメージをクラスでそろえ、聞き手に届ける。合唱で取り組む大きなテーマの一つです。その活動を通し、仲間とつかんだ達成感を価値化してほしいと思い、翌週の全校朝礼で次のような話をしました。

【前略】さて、今回の合唱コンクールですが、どのクラスにもいろいろなことがあり、その困難を協力して乗り越えてくれました。そのことが一番の成果です。クラスの仲間と協力し、クラスの作品を完成させたこと、そのために自分がクラスの仲間と頑張ったこと。改めて、自分の今回勝ち取った財産を見直してください。そして、自信をもって次の課題、取り組みに臨んでいきましょう。

合唱コンクールでは、それぞれの学年がとても素晴らしい成長ぶりを見せてくれました。

1年生は、大きな舞台の上でも、落ち着いて自分の力を発揮することができたこと。

2年生は、仲間を信じて、協力して一つのことに真剣に取り組むことの大切さを学んだこと。

3年生は、仲間とともに同じ方向を見て、気持ちをそろえて取り組むことが自分を大きく成長させることに気が付けたこと。

各学年この後の取り組みは、期末考査など個人で取り組むものですが、その取り組みの中でも同じように取り組んでいる、同じように頑張っている仲間の姿があなたの近くにあるはずですよ。今までの活動であなた自身がつかんだ仲間とのその絆を大切に、そして自信をもって次の活動に取り組んでください。

今、共にそこにいなくとも、自宅で一人で勉強に取り組んでいるときにも、仲間の温かさや熱意を感じ、自分も頑張ろうという力に変換できる、そのような力を勝ち取ることができることが、学校、七中で仲間とともに学んでいる大きな意味の一つです。【後略】

コミュニティスクールを開設します。

近年、学校を取り巻く環境が複雑化・多様化している中で、「開かれた学校」からさらに一步踏み出し、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかといった目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育てる「地域と共にある学校」への転換が必要とされています。コミュニティスクールとは、保護者や地域の皆さんが責任をもって学校経営に参画する仕組みで、「地域とともにある学校づくり」を推進することを目的とした国の制度になります。

調布市ではモデル校として、三小・上ノ原小・五中で今年度から導入し、七中も来年度開設を目指しています。【調布市HPより一部抜粋】

コミュニティスクールを開設することで、より、地域に根差した生徒の育成を進められると思います。自分が住んでいる地域・環境を大切にし、慈しむ心根を育てることで、地域社会を構成する市民としての情感を涵養し、そのことが良き市民の育成につながると期待しています。